

海岸漂着物対策における自治体連携の取組

*Efforts to reduce marine litter through
municipality collaboration*

三重県環境生活部 大気・水環境課 班長 小林利行

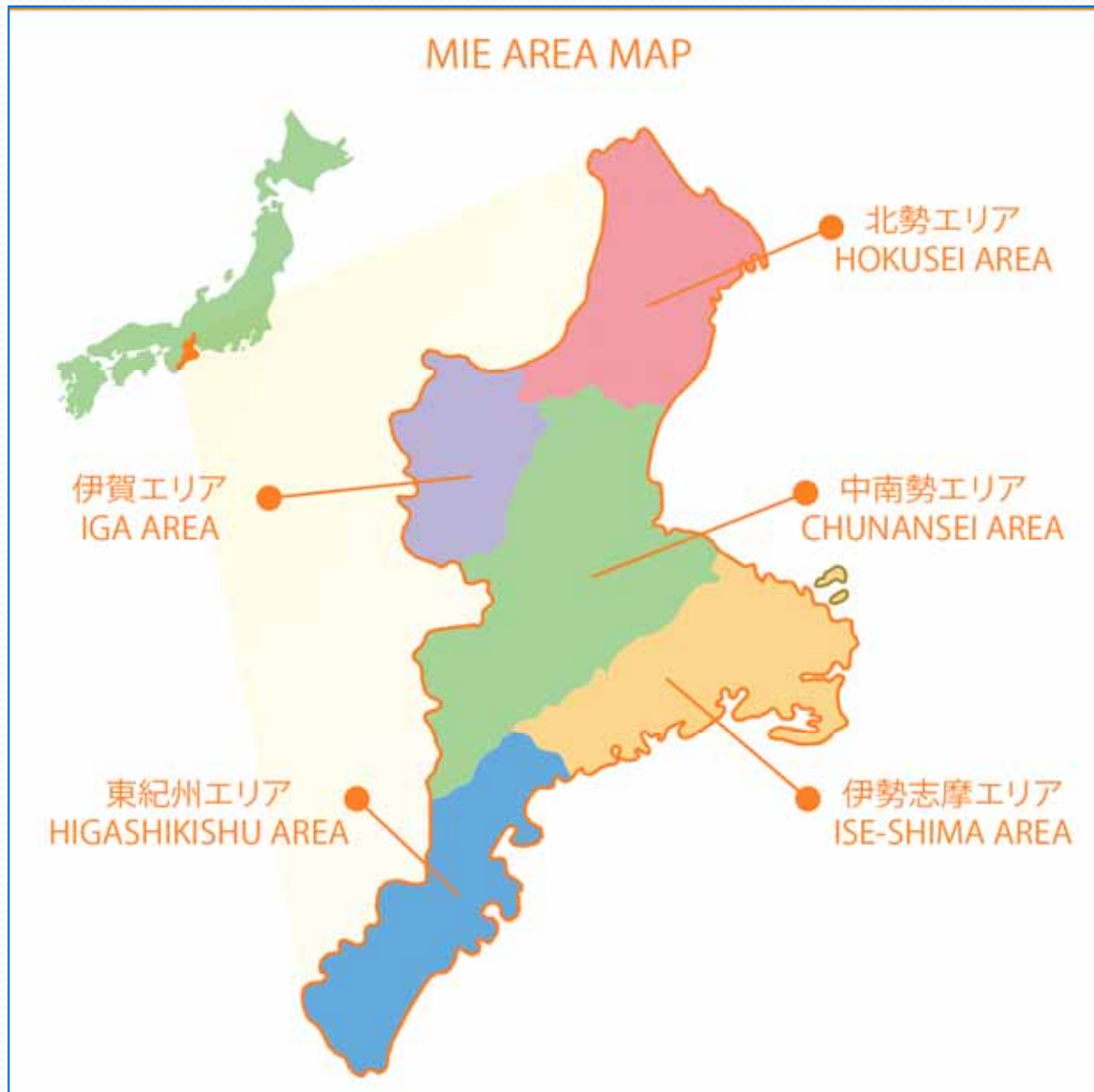
2016.12.10 海洋ごみシンポジウム

報告の概要

- 三重の海岸と海岸漂着物等の状況
- 海岸漂着物対策（これまでの経緯）
- 海岸漂着物の現状（調査結果の概要）
- 「三重県海岸漂着物対策推進計画」
- 発生抑制等の取組
- 自治体連携の取組 ～ 海岸漂着物対策検討会（東海三県一市）の取組～
- おわりに



三重県と伊勢湾



三重の海岸風景



三重県における海岸漂着物等の状況



鳥羽市 答志島（奈佐の浜）2012.11



鳥羽市 答志島（桃取港）2009.10



三重県内河川（木曾三川）2010.1

三重県における海岸漂着物対策

2007年
平成19年

2008年
平成20年

2009年
平成21年

2010年
平成22年

2011年
平成23年

「漂流・漂着ゴミ国内削減方策モデル調査」
(環境省 2007～2009)
三重県鳥羽市地域をモデル地域に選定
漂流・漂着ごみの実態調査を実施

海ごみサミット鳥羽会議
(2008.10)

「美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律（海岸漂着物処理推進法）（2009.7公布・施行）」

地域グリーンニューディール基金
(環境省 2009～2011)

三重県における海岸漂着物対策

2009年
平成21年

2010年
平成22年

2011年
平成23年

2012年
平成24年

2013年
平成25年

地域グリーンニューディール基金
(環境省 2009～2011)

海岸漂着物概況調査(県内93海岸)
海岸漂着物詳細調査(伊勢湾内14海岸)
河川ごみ実態調査(伊勢湾流域21河川)等
(2009～2010)

海岸漂着物対策推進協議会(2010.10～)
地域ワークショップ(2010.9～)

三重県海岸漂着物対策推進計画
(2012.3)

海岸漂着物対策検討会
(東海三県一市 2012.4)

三重県における海岸漂着物対策

2013年
平成25年

2014年
平成26年

2015年
平成27年

2016年
平成28年

2017年
平成29年

海岸漂着物地域対策推進事業（基金事業）
（環境省 2013～2014）

海岸漂着物等地域対策推進事業（補助金事業）
（環境省 2015～）

海岸漂着物発生抑制対策
啓発DVD作成（2013）
モニタリング調査（2013）

海岸漂着物発生抑制対策
ラッピング電車・バス運行（2014）
シネアド上映（2014）
啓発キャンペーン（2014）
啓発展示物作成（2014）
モニタリング調査（2014）

海岸漂着物発生抑制対策
シネアド上映（2015）
啓発TV番組放送（2015）
啓発ラジオ番組放送（2015）
モニタリング調査（2015）

海ごみサミット2016三重会議
（2016.10）

三重県（答志島）における海岸漂着物の現状

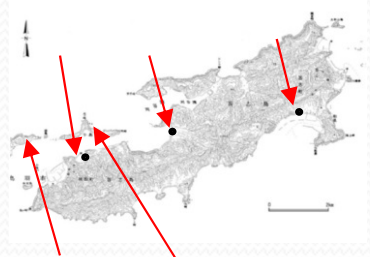
鳥羽市答志島では、豪雨などの災害時だけでなく、日常的に多量のごみが漂着しており、地域の生活に影響を及ぼしている。



多量のごみが漂着する奈佐の浜(2009)



豪雨後の桃取
漁港(2007)



台風12号の後の和具浦
(2011)

島名	人工ごみ	流木・灌木
答志島	900	21,188
牛島	1,380	12,964
浮島	720	23,658
合計	3,000	57,810

(参考) 答志島等における清掃事業でのごみ回収量(単位 kg) (2012環境省)

海岸漂着物の概況調査（2010）



鈴鹿市 鈴鹿海岸（南若松地区）2010.7.26



志摩市 大王海岸（名田地区）2010.7.30



熊野市 熊野海岸（須野地区）2010.7.26



志摩市 ④志摩海岸（片田地区）2010.7.26



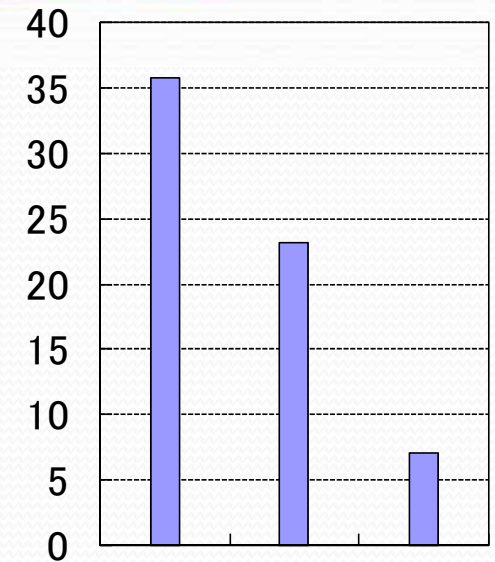
鳥羽市 ⑤相差漁港海岸 2010.7.30



伊勢湾

熊野灘

-  : 約32袋以上／10m
-  : 8袋～16袋／10m
-  : 2袋～4袋／10m
-  : 1/2袋～1袋／10m



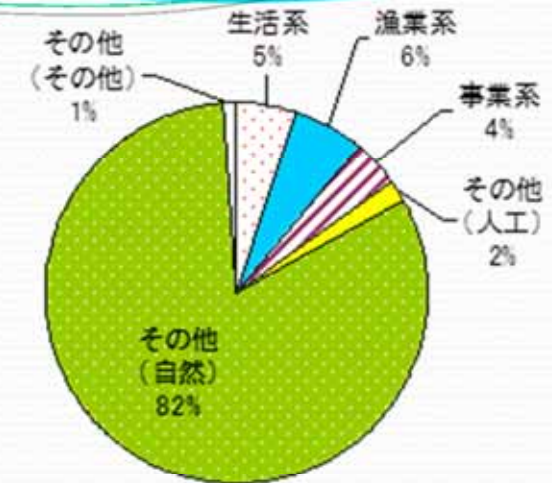
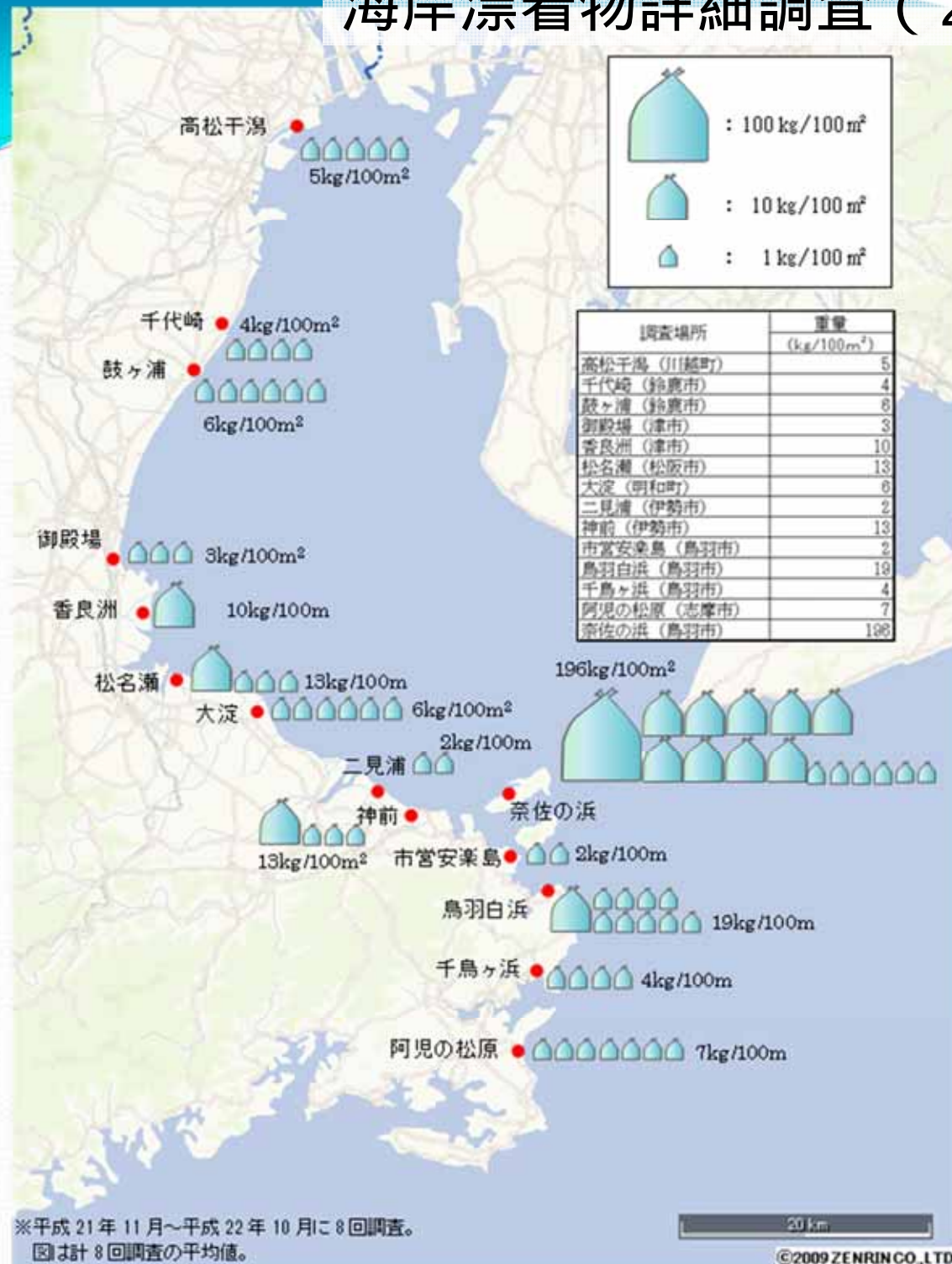
伊勢湾(答志島含む)

伊勢湾(答志島除く)

熊野灘

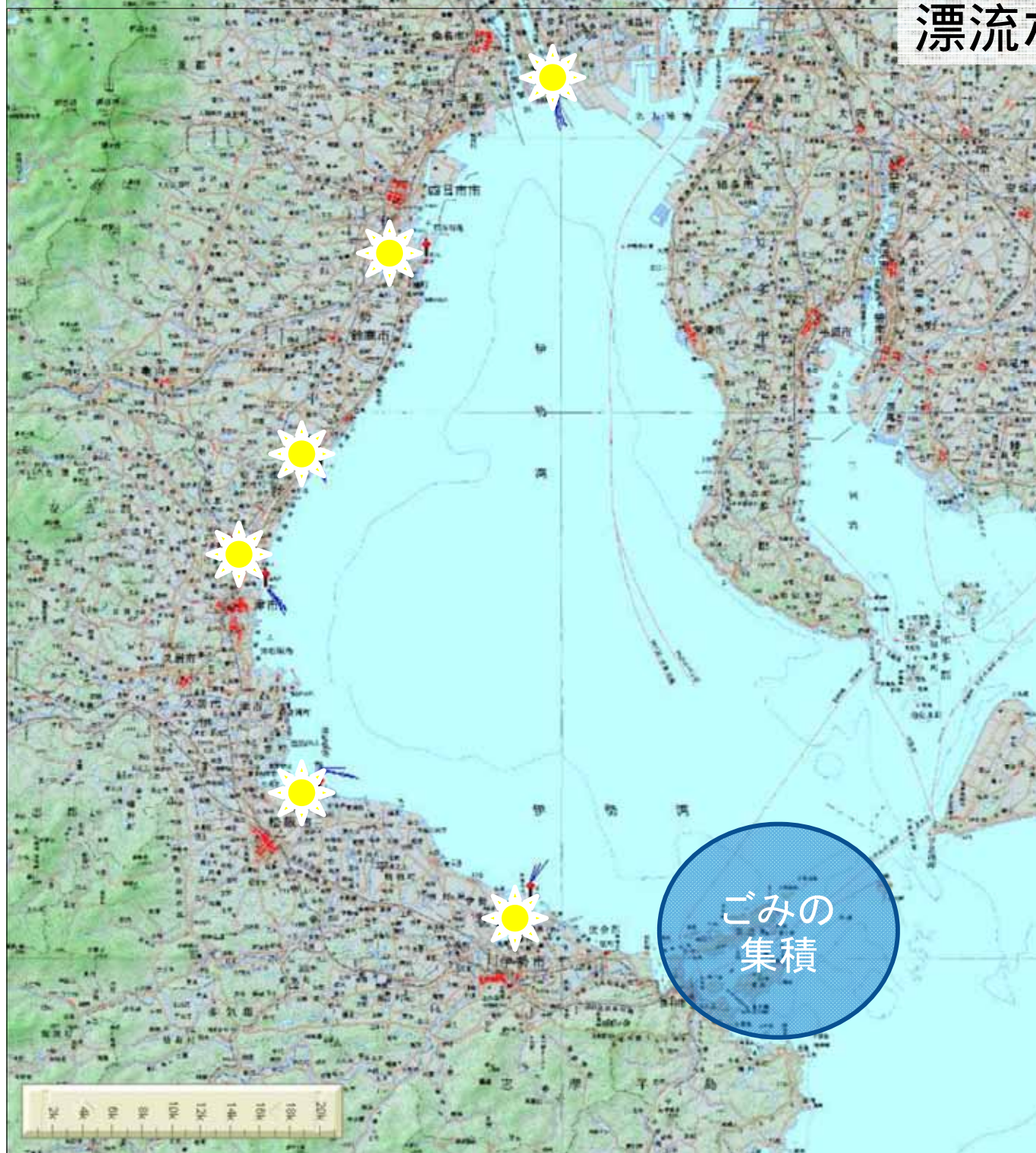
地区別ごみ容量
の平均値(袋/10m)

海岸漂着物詳細調査 (2009 ~ 2010)



漂着物の分類	
生活系	飲料用プラボトル
	食品の包装・容器
	生活雑貨
	ふた・キャップ
	袋類(農業用以外)
	飲料缶
	くつ・サンダル
	苗木ポット
	飲料ガラス瓶
	おもちゃ類
漁業系	ライター
	その他生活系
	発泡スチロールフロート
	ロープ・ひも
	うき・フロート・パイ
事業系	カキ養殖用パイプ
	その他漁業系
	木材等
	農業・肥料袋
その他	その他事業系
	自然
	漂流木
	人工
	硬質プラスチック破片
	発泡スチロール破片
	プラスチックシートや袋の破片
その他	ガラスや陶器の破片
	金属破片
その他	

漂流ボトル調査（2008）



三重県内の6つの河川の河口部から漂流(発信機付き)ボトルを放流し、漂流の道筋や海岸に流れ着く割合を調べるための調査が実施されました。

「三重県海岸漂着物対策推進計画」の概要

■ 本計画策定の目的

本県の美しい海岸を守っていくため、さまざまな主体の協創による相互協力と役割分担のもと、森・川・海のつながりを大切に海岸漂着物対策に取り組んでいくことをめざして策定

■ 海岸漂着物の特徴

- 海岸漂着物の量・質(1)(海岸クリーンアップ調査結果(伊勢湾内14海岸詳細調査))
量: 答志島(196kg/100m²) ≫ 鳥羽白浜(19kg/100m²) > 伊勢湾沿岸(7kg/100m²)
質: 流木・灌木等の自然系が最も多く(8割以上)、人工物では漁業系や生活系のものが多い
- 海岸漂着物の量(2)(海岸概況調査結果(県内93海岸))
答志島(640ℓ/10m) ≫ 鳥羽市・志摩市周辺(100ℓ/10m) > 伊勢湾沿岸(35ℓ/10m)
> 熊野灘沿岸(7ℓ/10m)
- 漂流ごみの発生源(ライター調査結果)
伊勢湾流域圏から河川を通じて伊勢湾に流入していると推測
- 鳥羽市・志摩市周辺に集中(GPS漂流ボトル調査結果)
伊勢湾に漂流するごみは、潮流や季節風の影響により、その多くが答志島に漂着と推定

「三重県海岸漂着物対策推進計画」の概要

■海岸漂着物対策を重点的に推進する区域の指定

重点区域の選定にあたっては、海岸漂着物等の量のほか、景観(観光)、動植物等の自然環境や海岸利用への影響、清掃活動の困難性等の社会環境に係る影響を総合的に勘案し、右図のとおりとしました。

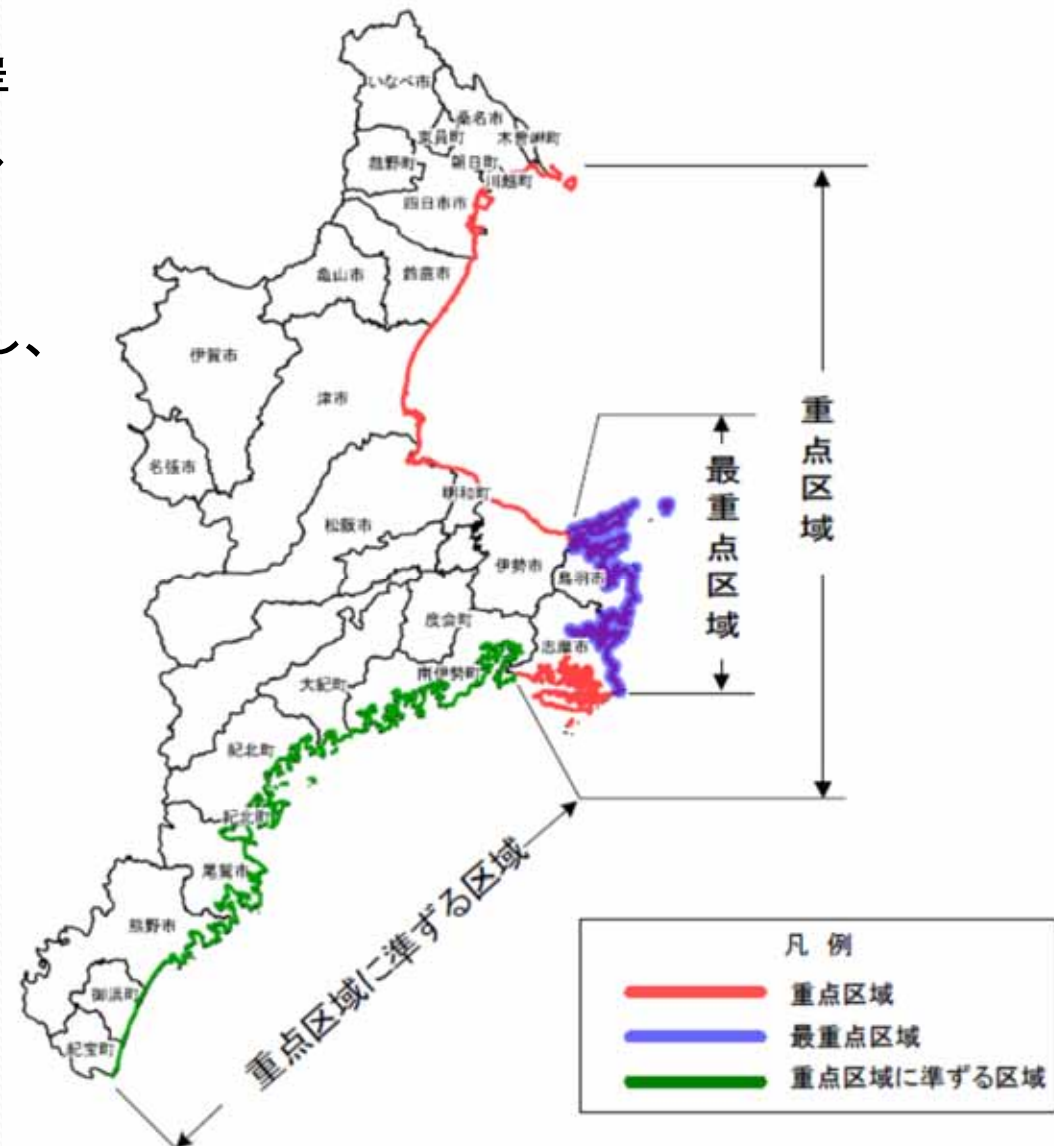
重点区域等の範囲

【回収・処理に係る】

- 重点区域
→木曽岬町～志摩市
- 最重点区域
→鳥羽市～志摩市大王崎
- 重点区域に準ずる区域
→南伊勢町～紀宝町

【発生抑制に係る】

- 重点区域
→県内全域



「三重県海岸漂着物対策推進計画」の概要

■ 海岸漂着物対策を重点的に推進する区域での対策

◎重点区域における回収・処理

○海岸漂着物の回収・処理は、海岸管理者、県、市町が民間団体等と連携し、その活動目的や自主性を尊重しながら、清掃活動を拡大・活性化します。

●各主体の主な役割

○海岸管理者の役割

- ・海岸漂着物等の計画的な回収・処理の実施
- ・民間団体等が行う回収等の支援

○市町の役割

- ・市町の処理施設における受入・処理に係る協力等
- ・回収、分別、運搬、処分等処理に係る支援、協力等

○県の役割

- ・海岸管理者、民間団体等への情報提供、連絡調整
- ・伊勢湾流域圏の関係機関との連携・協議及び国への調整等の要請
- ・他県に対する処理、発生抑制等への協力要請

○県民、民間団体等の役割

- ・自主的な海岸清掃活動等の実施、活動への参加

◎最重点区域における回収・処理

○国の財政措置に応じて、優先的に回収・処理を実施します。

○答志島を伊勢湾の漂着ごみの影響を象徴する場として、環境学習や清掃活動の拠点と位置付け、ボランティアによる清掃活動の継続、拡大に取り組みます。

○この区域の現状が認識され、多くの方々の発生抑制の行動につながるよう、ライブカメラ等による情報提供を行います。

○この区域での回収・処理の活動に伊勢湾流域圏から広く参加いただけるよう、船での遊覧や島内観光、海洋環境の体験学習などを組み合わせたエコツアーを地元と協力して開催します。

「三重県海岸漂着物対策推進計画」の概要

■ 発生抑制に係る重点区域での海岸漂着物対策

海岸ごみの多くは、私たちの日常生活を起点として森、川、海を通じて伊勢湾に流出したものが風や潮の流れにより海岸に漂着しており、さまざまな支障を生じています。海岸漂着物の発生抑制には、こうした現状を伊勢湾流域圏の県民・市民が正しく認識し、私たち一人ひとりが当事者であると問題意識を持ち行動することが重要です。

そのためには、三重県内だけでなく、愛知県、岐阜県、名古屋市とも連携して発生抑制に取り組む必要があります。

○三県一市で伊勢湾沿岸の漂着物による被害の現状を情報共有し、連携のうえ伊勢湾流域圏のみなさんに正しく周知します。

○三県一市が連携し、漂着ごみの回収だけでなく発生抑制にも貢献する「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」の拡大、活性化に取り組みます。

○これらとあわせて、さまざまな主体の協創による、不法投棄防止看板の設置、パトロールの実施、体験型環境学習の実施等にも取り組みます。

■ 海岸漂着物対策に係る環境学習

海岸での清掃活動等、海岸漂着物や発生抑制対策の一連の取組みに、県民が参加する体験を通じて環境学習の効果を高める。

■ 配慮すべき事項

○三県一市が協力してのモニタリングの実施

○計画の推進と見直し

○流木の発生抑制

三重県における海岸漂着物発生抑制の取組

■ ラッピング電車・バスの運行（2014）

○三重県内から愛知県の一部にかけて運航する私鉄および津市内、伊勢市内を運航する路線バスに海岸漂着物問題を啓発するラッピングを実施。



■ 啓発シネアドの上映（2014～2016）

○三重県内（愛知県内、岐阜県内の一部）の映画館において海岸漂着物問題を啓発するCM（シネアド）を上映。



ご理解とご協力をお願いします。



海岸漂着物対策検討会

(三重県・岐阜県・愛知県・名古屋市)

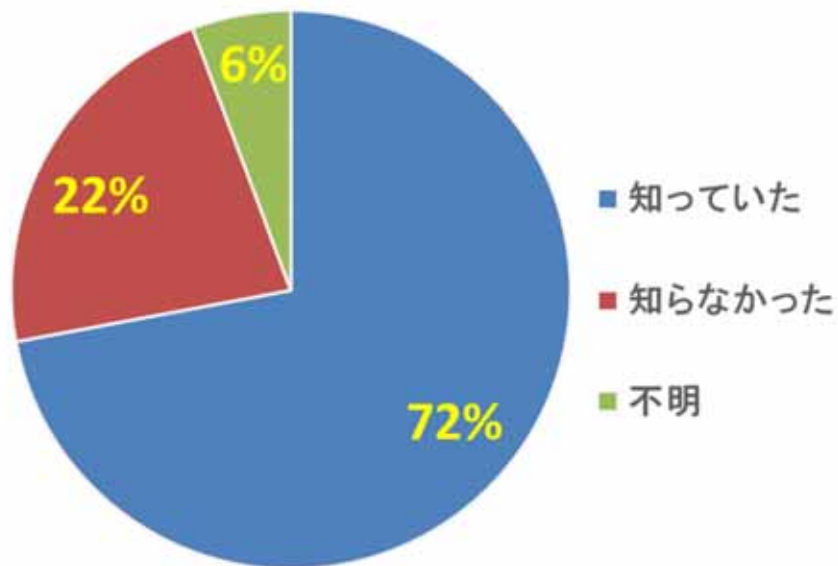
伊勢湾 ごみ

検索

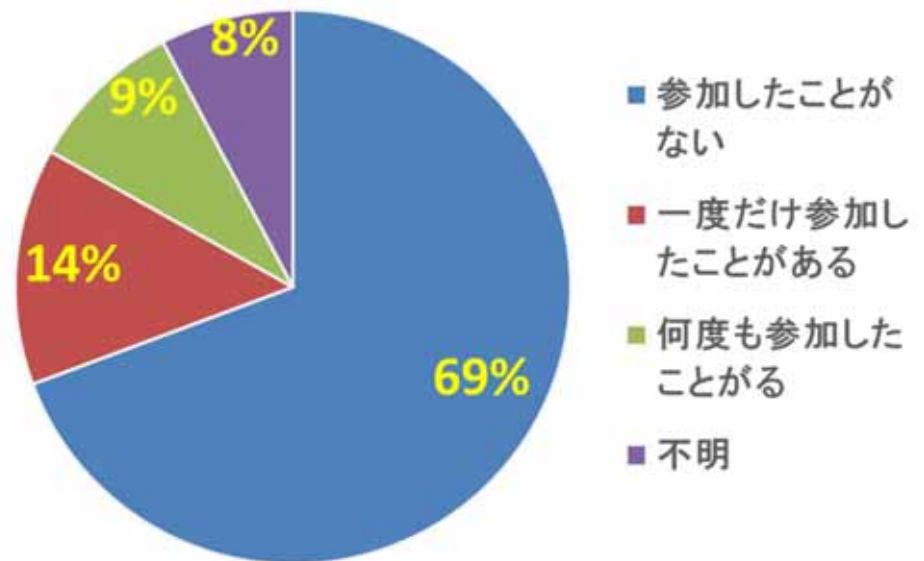
三重県における海岸漂着物発生抑制の取組

■ 映画館アンケートの結果（一部）

あなたは、日本各地の海岸に様々なごみが漂着していることを知っていましたか。



海岸や河川等で行われている清掃ボランティア活動に参加したことがありますか。



三重県内の映画館3館で実施 サンプル数300 2015年8月実施

三重県における海岸漂着物発生抑制の取組

■ 三重県環境学習情報センターにおける啓発展示物の設置（2014）

○三重県環境学習情報センター（四日市市）に海岸漂着物問題を啓発する常設展示物を設置。



■ 啓発キャンペーンの実施（2014）

○愛知県、岐阜県、三重県のFMラジオでオリジナル番組を放送。三県から参加者を募り、三重県内で海岸清掃イベントを実施。名古屋市内でキャンペーンを締めくくるイベントを実施。



三重県における海岸漂着物発生抑制の取組

■ 啓発DVD（こども向け）の制作（2013）

○子供向けに海岸漂着物問題を啓発するDVDを制作し、県内の小学校に学習教材として配布。



■ 啓発テレビ番組の放送（2015）

○海岸漂着物問題を啓発するオリジナル番組を放送。



三重県における海岸漂着物発生抑制の取組

■ 啓発ラジオ番組の放送等（2015）

○三重県、岐阜県のFMラジオでオリジナル番組を放送。東海三県の環境活動団体の皆さんからの活動紹介や、パーソナリティの足立梨花さんによる伊勢湾の現状紹介のコーナーなど。



■ 海ごみサミット2016三重会議の開催（2016）

○一般社団法人JEANとの共催により開催。日本を含む7カ国から、3日間のプログラムに延べ約 600人が参加。報告や討論を実施。「鳥羽アピール」を採択。



三重県における海岸漂着物発生抑制の取組

■「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」の取組

○伊勢湾の再生に向けた取組として、各地で実施される清掃活動について、実施主体、実施内容、日時、場所等の情報を取りまとめ、広く周知を図り、多くの方に参加を呼びかけています。
2008年度(平成20年度)から取組を実施

	三重県		愛知県		岐阜県		計	
	団体数	参加人数	団体数	参加人数	団体数	参加人数	団体数	参加人数
2008年度	19	9,310	3	82	1	700	23	10,092
2009年度	25	17,522	12	752,373	8	66,823	45	836,718
2010年度	26	18,776	8	704,964	44	75,716	78	799,456
2011年度	26	16,475	9	3,771	18	66,377	53	86,623
2012年度	33	23,834	8	2,581	17	125,834	58	152,249
2013年度	36	21,725	8	24,424	16	87,114	60	133,263
2014年度	35	25,984	9	24,763	16	112,104	60	162,851
2015年度	40	26,629	10	30,867	14	48,669	64	106,165

平成28年度
伊勢湾 森・川・海の
クリーンアップ大作戦

「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」は、伊勢湾流域圏の愛知県、岐阜県、名古屋市と連携して取り組んでいます。

伊勢湾は、生活・文化や産業活動など多くの面で私たちと深い関わりを持ち、その存在自体がかけがえのない資産です。一方で、水質汚濁や漂着ごみ問題など多くの課題も抱えており、また私たちも日頃から伊勢湾を意識し、ふれあう機会が少なくなっています。

現在、伊勢湾流域圏では、地域住民、NPO、企業、市町村等の参加により、森林、河川、海岸、地域等で、日々さまざまな清掃活動が行われていますが、伊勢湾の再生をはかるためには、それぞれの活動が、森から川、海へのつながりを意識し、互いに連携した活動となることが重要です。このため、三重県では、平成20年度より伊勢湾再生に向けた広域的な連携を目的として「伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦」を実施しています。

お問い合わせ
各実施活動の内容については、実施団体に直接お問い合わせください。

参加方法等
実施日・時間、実施場所等は、一覧表のとおりです。詳しくは各実施団体に確認ください。

伊勢湾 森・川・海のクリーンアップ大作戦のホームページは、「伊勢湾 森・川・海」で検索

三重の環境「伊勢湾再生」のホームページ
<http://www.eco.pref.mie.lg.jp/isewan/49956016937.htm>

その他「クリーンアップ大作戦」について
〒514-8570 三重県津市広町13番地 三重県環境生活部 大気・水環境課
TEL:059-224-2382 FAX:059-229-1016

三重県

自治体連携の取組

（東海三県一市：三重県、岐阜県、愛知県、名古屋市）

■「東海三県一市知事市長会議」（2012.1.16）

○三県一市の知事・市長会において、伊勢湾沿岸の漂着ごみ問題の解決に向け、流域圏で連携して取り組むことを三重県知事から提案。

三県一市が連携して取り組むことを合意。



■海岸漂着物対策検討会（東海三県一市）の設置（2012.4.24 第1回開催）

「伊勢湾総合対策協議会」（昭和45年発足）の部会として、「海岸漂着物対策検討会」を設置

○検討会の構成

三県一市の関係課（各県市の環境、企画、土木、農水部局担当課） オブザーバー：環境省中部地方環境事務所廃棄物・リサイクル対策課長



海岸漂着物対策検討会（東海三県一市）における取組

■ 海岸漂着物対策検討会（東海三県一市）設置のねらい

- 三県一市の情報共有により、海岸漂着ごみによる被害の現状をできるだけ多くの県民・市民に知ってもらい、その主な原因が、私たちの日常生活に伴って排出される生活系ごみや、事業活動に伴うごみによるものであるということを認識してもらう。
- 各地域で自治会やNPOなどの民間団体、企業による清掃活動が行われているが、このような活動は、海岸漂着物対策の推進を図るうえでとても重要であることから、私たち一人ひとりが当事者であることを意識して、このような活動が広がるよう、支援する。

■ 海岸漂着物対策検討会（東海三県一市）運営要領のポイント

- 目的
検討会は、岐阜県、愛知県、三重県及び名古屋市（以下「三県一市」という。）が伊勢湾及びその流域圏における総合的な海岸漂着物に関する課題について連携して取り組むことにより、伊勢湾沿岸の景観や環境の保全を図り、美しく健全で活力ある伊勢湾の再生に資することを目的とする。
- 事業
(1)普及啓発 (2)調査研究 (3)その他、必要な事項

海岸漂着物対策検討会（東海三県一市）における取組

■ 構成県市の担当者による研修（2012～）

○三県一市の担当者が参加する研修会を実施（22世紀奈佐の浜プロジェクトが実施する海岸清掃、エクスカベーションに参加）



■ NPO等との意見交換（2012～）

○三県一市で海岸清掃等のボランティア活動等に取り組んでいるNPO等と、海岸漂着物検討会の構成員との意見交換会を実施



海岸漂着物対策検討会（東海三県一市）における取組

■ 共同で普及啓発資材を作成（2012～）

○三県一市で共通の普及啓発資材を作成し、各県市のイベント等で活用

ポスター（2013）



パネル4枚組（2013）



環境デーなごや

クリアファイル（2015）



海岸漂着物対策検討会（東海三県一市）における取組

■ 国への提案・提言（2012～）

○三県一市で連携して国への
提言・提案活動を実施



《参考資料》 H24年3月11日開催のシンポジウム資料

三県一市知事・市長からのメッセージ



愛知県
知事
大村 秀章

愛知県では、昨年8月に、海岸漂着物対策推進地域計画を策定し、海岸管理者等、市町村、民間団体等が連携・協力して、海岸漂着物対策を行っています。海岸漂着物の多くは、河川等から流入し、県域を越えて移動するため、三県一市による連携を強化し、広域的な発生抑制対策に取り組んでいきたいと考えています。



岐阜県
知事
古田 肇

岐阜県では、森川海を一体とした自然環境保全に取り組む「清流の国ぎふづくり」を推進しています。その中で、上下流域の皆さんによる間伐や海岸清掃活動等を通じ、海的环境は森や川を守ることから始まることを御理解いただいています。本年9月に開催される「ぎふ清流国体・清流大会」でも、皆さんと共に伊勢湾再生に向けた「清流の国ぎふづくり」をアピールしていきます。

《参考資料》 H24年3月11日開催のシンポジウム資料

三県一市知事・市長からのメッセージ



名古屋市
市長
河村 たかし

私たちの生活の場である都市は、水によって森、川、海とつながっています。海岸漂着物について考えることを通じて、伊勢湾流域圏のたくさんの方が連携・協力していくことは、健全な水循環や生物多様性保全の観点からも重要なことです。豊かな伊勢湾を未来へ引き継いでいくために、三県一市で共に考え、取り組んでいきましょう。



三重県
知事
鈴木 英敬

三重県の答志島をはじめとして、海岸漂着物の対策に多くの方が苦勞されています。今、こうした地域の現状を伊勢湾流域圏全体で共有し、海岸漂着物を私たち一人ひとりの問題と捉えて、その思いを行動に移すことが求められています。皆さん、ぜひ一緒に、伊勢湾流域での活動を盛り上げていきましょう。



出典: G7伊勢志摩サミット公式ホームページ

伊勢志摩サミットが開催された三重の美しい自然を守るため、引き続き海洋ごみ対策を推進してまいります。